



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結） 平成19年2月7日

上場会社名 燦ホールディングス株式会社

（URL <http://www.san-hd.co.jp>）

（コード番号：9628 東証・大証第1部）

代表者 代表取締役社長 小西 幸治

問合せ先責任者 経理部長 大井 信三 TEL：（06）6226-1716

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結（新規）1社（除外）社 持分法（新規）社（除外）社

2. 平成19年3月期の第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況 （注）記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	12,260	5.2	478	51.3	482	51.4	65	
18年3月期第3四半期	12,930	10.5	980	55.1	993	71.6	639	
(参考)18年3月期	17,406		1,331		1,349		491	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	11 46	11 45
18年3月期第3四半期	107 22	
(参考)18年3月期	87 50	

（注）営業収益、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の連結業績は、営業収益が12,260百万円と前年同期比670百万円、5.2%の減収となったため、営業利益が478百万円、経常利益が482百万円とそれぞれ前年同期比51.3%、51.4%の減益となりました。

減収の主な要因は、葬儀事業の中心である(株)公益社の葬儀請負が、件数減少にやや底入れの兆しが見られる一方、単価は低下傾向を示しており、依然として低調に推移しているためであります。

なお、上記連結業績には、平成18年10月1日付で株式取得により完全子会社とした(株)タリイを含んでおります（営業収益354百万円、営業利益64百万円）。

また、販売費及び一般管理費が前年同期比76百万円増加したのは、役員賞与引当金繰入額37百万円、(株)タリイ買収に伴うのれん償却額34百万円の発生等によるものであります。

税金等調整前四半期純利益は、建物改修工事に伴う固定資産除却損等の特別損失により431百万円となり、さらに、関西自動車(株)の繰延税金資産を全額取り崩した事等により法人税等負担率が高まり、四半期純利益は65百万円にとどまりました。

[セグメント別の概況]

葬儀事業

(株)タリイを除く既存事業では、934 百万円の減収となりました。その主な要因は(株)公益社の葬儀請負の営業収益が 951 百万円減少したことであります。葬儀請負の件数が前年同期比 4.3% (279 件) 減少、単価が 6.5% (91 千円) 低下となり、後者には社葬を中心とする 5 百万円超の大規模葬の件数減少が大きく影響しております。

5 百万円以下の葬儀 (一般個人葬) については、関西圏で件数・単価が下落しており、競争の激化の影響と葬儀小型化の傾向が顕著であります。一方、首都圏では受注チャネル多様化への取り組み等が奏功し、一般個人葬の件数・単価がともに前年同期を上回り、金額では 14.5% の増収となりました。

次に、(株)公益社及び(株)ユーアイのアフター事業については、法事法要収入は前年同期比 1.3% の微増、返礼品販売収入は、香典辞退の葬儀比率の上昇に、件数そのものの減少が加わって販売機会が減少し、前年同期比 9.9% の減収となりました。これに対して仏壇仏具販売収入は、(株)ユーアイの販売体制の拡充を背景に前年同期比 1.4% の増収を確保いたしました。以上の結果、両社のアフター事業全体としては、前年同期比 61 百万円、5.5% の減収となりました。

(株)葬仙では、葬儀件数は前年同期を上回りながら、葬儀 1 件当たり営業収益の低下により、営業収益は前年同期比 12 百万円減 (1.3% 減) の 1,008 百万円にとどまりました。また、(株)タリイについては、10 月～12 月の 3 ヶ月で葬儀件数 255 件、営業収益 354 百万円となりました。

以上の結果、葬儀事業の営業収益は 579 百万円減収の 11,034 百万円 (セグメント間営業収益 31 百万円を含む) となりました。

運送事業

霊柩運送事業における宮型車の運行回数は、葬儀業者の自社保有車両の増加、運送業者の新規参入及び消費者の洋型車選好の強まりという従来からの外部要因に、当第 3 四半期の(株)公益社 (関西圏) の葬儀件数の減少という内部要因が加わり、前年同期比 20.1% 減となりました。洋型車の運行回数は 20.6% 増したものの、宮型車、寝台車 (8.3% 減) を合わせた霊柩運送全体の運行回数は前年同期を 10.1% 下回りました。

以上の結果、運送事業の営業収益は 108 百万円減収の 1,024 百万円 (セグメント間営業収益 0.6 百万円を含む) となりました。

その他の事業

不動産賃貸を中心とするその他の事業の営業収益は、前年同期比 14 百万円増収の 244 百万円 (セグメント間営業収益 12 百万円を含む) となりました。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
19 年 3 月 期 第 3 四 半 期	27,093	18,436	68.0	3,226 91
18 年 3 月 期 第 3 四 半 期	25,744	19,077	74.1	3,200 74
(参考) 18 年 3 月 期	25,793	18,626	72.2	3,255 84

[財政状態 (連結) の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は前期末に比べ 1,300 百万円増加して 27,093 百万円となりました。一方、純資産額は四半期純利益が 65 百万円と、利益処分による配当金及び役員賞与の額を下回っているため、前期末に比べ 190 百万円減少し 18,436 百万円となりました。その結果、自己資本比率は前期末の 72.2% から 68.0% へと 4.2 ポイント低下いたしました。

資産の部では、有形固定資産において 5 月に(株)葬仙で会館用地を取得したため土地が 52 百万円、昨年

3月に着工した千里会館建替え工事等により建設仮勘定が642百万円それぞれ増加し、さらに無形固定資産において10月に㈱タライの株式取得に伴いのれんが1,385百万円発生し、1,298百万円増加いたしました。その結果、固定資産合計は前期末比1,926百万円の増加し、23,846百万円となりました。

これに対応して、負債の部では、㈱タライの株式取得のための借入れ1,800百万円を中心に短期借入金を1,990百万円増加させ、残高が2,616百万円となりました。長期借入金は、千里会館建替え工事その他の設備資金として650百万円を借入れる一方、約定に基づき1,029百万円を返済した結果、1年以内返済予定を含む長期借入金は379百万円減少（うち1年以内返済予定で185百万円減少）して2,517百万円となりました。その結果、負債合計は前期末比1,490百万円増加し、8,657百万円となりました。

こうした借入金の返済を中心とする財務上の資金需要に充当したため、現金及び預金は、前期末比739百万円減少いたしました。

3. 平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	営業収益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	17,420	810	150

（参考） 1株当たり予想当期純利益 26円25銭

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる結果となる可能性があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

通期予想値（平成18年10月20日発表）に対する当第3四半期の進捗率は、営業収益が70.4%、経常利益が59.6%であります。通期予想と第3四半期実績との乖離額、事業の季節性及び足元の受注状況等を勘案し、通期の連結業績予想は修正しておりません。

なお、平成19年1月22日に新築リニューアルオープンした千里会館については、旧会館の隣地への建替えであり、同一営業地盤での旧会館の業績水準の維持を前提に通期業績予想を作成しております。

但し、次期以降、新しい施設の特長を最大限生かして、社葬・合同葬の獲得や地域でのシェアアップに積極的に取り組む予定であります。

以上

[添付資料]

1. 四半期連結（要約）損益計算書

（単位：千円）

期 別 科 目	当第3四半期 〔自平成18年4月1日 至平成18年12月31日〕		前第3四半期 〔自平成17年4月1日 至平成17年12月31日〕		増 減		前 期 〔自平成17年4月1日 至平成18年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減比	金 額	百分比
営 業 収 益	12,260,435	100.0	12,930,450	100.0	670,014	5.2	17,406,158	100.0
営 業 費	10,590,255	86.4	10,833,970	83.8	243,715	2.2	14,584,308	83.8
営 業 総 利 益	1,670,180	13.6	2,096,479	16.2	426,298	20.3	2,821,850	16.2
販売費及び一般管理費	1,192,003	9.7	1,115,506	8.6	76,496	6.9	1,490,287	8.6
営 業 利 益	478,177	3.9	980,972	7.6	502,795	51.3	1,331,562	7.6
営 業 外 収 益	66,428	0.5	80,701	0.6	14,273	17.7	106,987	0.7
営 業 外 費 用	62,075	0.5	68,468	0.5	6,392	9.3	88,971	0.5
経 常 利 益	482,529	3.9	993,206	7.7	510,676	51.4	1,349,578	7.8
特 別 利 益	1,888	0.0	12,592	0.1	10,703	85.0	12,979	0.1
特 別 損 失	52,521	0.4	1,471,916	11.4	1,419,395	96.4	1,554,774	9.0
税金等調整前四半期 純利益又は税金等 調整前四半期(当期) 純損失()	431,897	3.5	466,117	3.6	898,015		192,216	1.1
法人税、住民税 及び事業税	320,739	2.6	401,268	3.1	80,529	20.1	565,583	3.2
法人税等調整額	45,710	0.4	228,373	1.8	274,083		266,309	1.5
四半期純利益 又は四半期(当期) 純損失()	65,447	0.5	639,013	4.9	704,461		491,490	2.8

2. 四半期連結(要約)貸借対照表

(単位:千円)

期 別 科 目	当第3四半期 (平成18年12月31日現在)		前 期 (平成18年3月31日現在)		増 減	前第3四半期 (平成17年12月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
		%		%			%
(資 産 の 部)		%		%			%
流 動 資 産	3,247,721	12.0	3,874,054	15.0	626,333	4,431,451	17.2
1 現 金 及 び 預 金	1,828,526		2,568,293		739,766	3,004,070	
2 受 取 手 形 及 び 営 業 未 収 金 並 び に 未 収 運 賃	564,924		454,043		110,881	490,992	
3 有 価 証 券			45,020		45,020	45,027	
4 た な 卸 資 産	279,886		241,631		38,255	263,325	
5 そ の 他	577,402		567,621		9,781	631,127	
6 貸 倒 引 当 金	3,018		2,555		463	3,091	
固 定 資 産	23,846,228	88.0	21,919,534	85.0	1,926,694	21,313,506	82.8
1 有 形 固 定 資 産	19,435,683	71.7	18,731,533	72.6	704,149	18,071,276	70.2
(1) 建 物 及 び 構 築 物	7,771,569		7,714,606		56,963	7,381,377	
(2) 土 地	9,970,053		9,917,522		52,530	9,917,522	
(3) そ の 他	1,694,060		1,099,405		594,655	772,376	
2 無 形 固 定 資 産	1,994,159	7.4	703,078	2.7	1,291,080	724,338	2.8
(1) 連 結 調 整 勘 定			619,618		619,618	636,830	
(2) の れ ん	1,918,492				1,918,492		
(3) そ の 他	75,666		83,459		7,792	87,507	
3 投 資 そ の 他 の 資 産	2,416,386	8.9	2,484,921	9.7	68,535	2,517,892	9.8
(1) 投 資 有 価 証 券	10,603		10,253		349	19,182	
(2) 長 期 貸 付 金	682,106		714,925		32,818	705,165	
(3) 不 動 産 信 託 受 益 権	680,541		734,352		53,811	717,676	
(4) 差 入 保 証 金	664,388		551,417		112,971	564,474	
(5) そ の 他	445,881		543,996		98,115	581,547	
(6) 貸 倒 引 当 金	67,135		70,023		2,888	70,153	
資 産 合 計	27,093,950	100.0	25,793,588	100.0	1,300,361	25,744,958	100.0

(単位：千円)

期 別 科 目	当第3四半期 (平成18年12月31日現在)		前 期 (平成18年3月31日現在)		増 減	前第3四半期 (平成17年12月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(負 債 の 部)		%		%			
流 動 負 債	5,283,214	19.5	3,562,324	13.8	1,720,890	2,724,700	10.6
1 営 業 未 払 金	754,351		610,351		144,000	674,272	
2 短 期 借 入 金	2,616,700		626,670		1,990,030	44,169	
3 1 年 以 内 返 済 予 定 金	908,988		1,093,992		185,004	923,992	
4 長 期 借 入 金	118,401		383,631		265,230	318,043	
5 賞 与 引 当 金	160,192		383,411		223,219	151,373	
6 役 員 賞 与 引 当 金	37,500				37,500		
7 そ の 他	687,081		464,267		222,813	612,850	
固 定 負 債	3,374,001	12.5	3,604,431	14.0	230,430	3,943,081	15.3
1 社 債	1,500,000		1,500,000			1,500,000	
2 長 期 借 入 金	1,608,528		1,803,182		194,654	2,134,180	
3 長 期 預 り 金	98,990		75,607		23,382	82,006	
4 退 職 給 付 引 当 金	17,283				17,283		
5 そ の 他	149,199		225,641		76,442	226,895	
負 債 合 計	8,657,215	32.0	7,166,755	27.8	1,490,459	6,667,782	25.9
(資 本 の 部)							
資 本 金			2,568,157	9.9		2,568,157	10.0
資 本 剰 余 金			5,488,615	21.3		5,488,615	21.3
利 益 剰 余 金			11,445,232	44.4		11,298,982	43.9
その他有価証券評価差額金			411	0.0		733	0.0
自 己 株 式			874,761	3.4		277,846	1.1
資 本 合 計			18,626,832	72.2		19,077,176	74.1
負 債 ・ 資 本 合 計			25,793,588	100.0		25,744,958	100.0
(純 資 産 の 部)							
株 主 資 本	18,437,276	68.0					
1 資 本 金	2,568,157						
2 資 本 剰 余 金	5,488,615						
3 利 益 剰 余 金	11,252,189						
4 自 己 株 式	871,686						
評 価 ・ 換 算 差 額 等	542	0.0					
1 その他有価証券評価差額金	542						
純 資 産 合 計	18,436,734	68.0					
負 債 ・ 純 資 産 合 計	27,093,950	100.0					

3. 請負及び営業の実績

(1) 請負実績

当社グループにおける事業の種類別セグメントのうち、主な事業である葬儀請負事業及び霊柩運送事業に係わる、葬儀請負施行件数及び霊柩車運行回数の、当第3四半期におけるそれぞれの状況は次のとおりであります。

葬儀請負事業部門（会館別葬儀請負施行件数）

ア) ㈱公益社

区 分	期 別	当 第 3 四 半 期 (自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日)			
		式場数	施行件数	前年同期比	稼働率
大規模会館 〔千里会館、枚方会館、西宮山手会館、 公益社会館 天神橋〕	大 式 場	4	157	84.9	28.5
	一般式場	15	1,302	84.2	63.1
支店・営業所附属会館 〔東大阪、堺、吹田、岸和田、西田辺、 用賀、玉出、城東、宝塚、豊中、 高槻、富雄、守口、雪谷、明大前、 たまプラーザ、なかもず〕	一般式場	31	3,249	104.9	76.2
	小 計	50	4,708	97.5	68.5
その他（自宅、寺院等）			1,465	90.2	
合 計			6,173	95.7	

イ) ㈱葬仙

区 分	期 別	当 第 3 四 半 期 (自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日)			
		式場数	施行件数	前年同期比	稼働率
支店・営業所附属会館 〔鳥取、吉方、岩美、米子、安倍、福米、 安来、境港、余子、松江、比津、東出雲、 大東〕	一般式場	13	760	100.8	44.7
	その他（自宅、寺院等）		153	148.5	
合 計			913	106.5	

ウ) ㈱タリイ

区 分	期 別	当 第 3 四 半 期 (自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日)			
		式場数	施行件数	前年同期比	稼働率
支店・営業所附属会館 〔舞子、大蔵谷、新明、林崎、大久保、 魚住、土山、東加古川〕	一般式場	13	238		39.8
	その他（自宅、寺院等）		17		
合 計			255		

- (注) 1. 稼働率 = 施行件数 ÷ 基準件数 × 100 なお、式場利用は通常、通夜と葬儀の2日間にわたるため、基準件数は1式場2日間に1件の施行を標準として算出しております。
2. 葬儀請負施行件数は、法事・法要件数を除いた件数を記載しております。
3. ㈱タリイについては平成18年10月1日から同年12月31日までの実績を記載しております。

霊柩運送事業部門（霊柩車運行回数）

区 分	期 別	当 第 3 四 半 期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)		
		車両数	運行回数	前年同期比
		台	回	%
宮型霊柩車		45	10,811	79.9
洋型霊柩車		18	4,383	120.6
パン型寝台車		35	12,121	91.7
合 計		98	27,315	89.9

(注) 稼働率 = 運行回数 ÷ 基準運行回数 × 100

なお、基準運行回数は1台1日3回の運行を標準として算出しております。

(2) 営業実績

事業の種類別セグメント	期 別	当 第 3 四 半 期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	
		金 額	前年同期比
		千円	%
葬儀事業		11,003,540	94.9
運送事業	霊柩運送事業	673,842	89.5
	そ の 他	350,443	94.4
	計	1,024,285	91.1
その他の事業		232,610	108.8
合 計		12,260,435	94.8